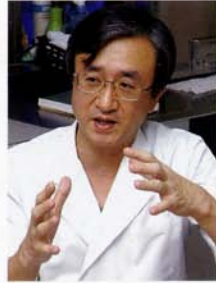


# ドクターの茶飲み話

## 老化現象と見誤りやすい甲状腺機能低下症 へビースモーカーの声かれは喉頭がんに注意。

笠井耳鼻咽喉科クリニック 院長 笠井 創先生 — 最終回



最近、むくみが気になる、皮膚が力サ力サする、寒さが身に堪えない、物忘れがひどい、動きが鈍くなったなどの症状に、思い当た

また、甲状腺にがんがみられるケースも多いのですが、このがんは、通常命にかかわるほどの大きさにはなりません。

また、下咽頭がんは、へビースモーカーで大量飲みの人ほど発症しやすく、男性は女性の4〜5倍、年齢は50〜60歳代に多いといわれています。

ただ、下咽頭がんのうち輪状後部にできるがんは、喫煙や飲酒に関係なく、貧血(特に鉄欠乏性貧血)の女性に多く発症する例外的なものもあります。

ただ、ほかの症状は殆どありません。甲状腺の破壊が進み、機能が低下してくると、甲状腺ホルモンを十分に作れなくなり、体の新陳代謝もにぶくなります。そうすると、前述の症状やしわがれ声、体重増加、体温の低下、便秘などの症状が現れます。

日本では1年に4千人ほどが発症する喉頭がんは、声帯にがんができるため声がかれるのが特徴。初期ならば、放射線治療などで済ませられるので、自覚症状のある人は早目に受診しましょう。ある程度進行しても、声を失うことを覚悟すれば、手術で治る確率は90〜95%。わりあい治しやすいがんといえます。

ただ、下咽頭がんのうち輪状後部にできるがんは、喫煙や飲酒に関係なく、貧血(特に鉄欠乏性貧血)の女性に多く発症する例外的なものもあります。いずれにせよ、長期の飲酒歴や喫煙歴のある人は、咽頭、喉頭、さらに口腔を含めた、頭頸部がんに注意する必要があります。

意外と多い慢性甲状腺炎  
放置しているとうつ状態や動脈硬化症などを引き起こす  
甲状腺機能低下につながる慢性甲状腺炎は、軽症や潜在性のものを含めると、若い女性の約20人に1人、成人女性の10人に1人、高齢女性ではもっと多く、男性でも全人口の5%程度はいるといわれています。

長期間、甲状腺ホルモン不足が続くと、心臓の動きや肝機能の低下が起こり、血液中のコレステロール濃度が上がって動脈硬化を早めることにもなります。

医師の名から「橋本病」とも言

かさいはじむ・プロフィール  
昭和58年、千葉大学医学部大学院終了、医学博士。国保君津中央病院、国立がんセンター病院を経て、横須賀共済病院耳鼻咽喉科医長となり、千葉大学医学部非常勤講師を兼任。平成2年、横浜に耳鼻咽喉科気管食道科笠井クリニック開設、平成11年に笠井耳鼻咽喉科クリニック・自由が丘診療所を開設。  
<http://www.linkclub.or.jp/~entkasai/>

